

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

有限会社プログレ総合研究所

②事業者情報

名称：地域密着型特別養護老人ホーム ひなの槻	種別：地域密着型特別養護老人ホーム
代表者氏名：鈴木 幸次	定員(利用人数)： 29 名
所在地： 〒339-0002 埼玉県さいたま市岩槻区裏慈恩寺40-3 Tel 048-793-1165	

③評価実施期間

平成30年12月1日（契約日）～平成31年3月14日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

・ **クックチル方式の導入により、利用者個々の状態に応じた食事の提供が可能となっている**
 食材を加熱調理後、冷却または冷蔵せずに速やかに提供することを前提とするクックサーブ方式ではなく、調理した料理を一旦急速冷却して保存し、提供時間に合わせて再度加熱をするクックチル方式を導入している。この方式を導入することにより、提供するメニューの幅が広がり、朝食では、好みに応じて和食か洋食を選ぶことが出来る。また、これまで、通院等で、調理後2時間以内の喫食が難しく、汁ものと御飯といった軽食に変更していた利用者も、他の利用者と同じメニューの食事をとることができるようになった。栄養面、満足度とも高くなり、生活の質の向上につながっている。

・ **利用者一人ひとりの気持ちを大切にされた支援に取り組んでいる**

利用者の心身の状況、暮らしの意向、これまでの生活歴等を、入所時の聞き取り以後も定期的に確認して職員は共有している。できるだけ残存能力を維持できるよう、サービス提供時には、「これができるよ～ができるよ」など、前向きな気持ちで取り組める様な動機づけをおこない、一人ひとりの得意なこと、好きな事を継続できるよう支援している。編み物をする人、相撲番付けを楽しむ人など過ごし方はそれぞれである。また、利用者が発する表現を大事にし、食事の面では「おいしい」「まあまあ」利用者個々の感覚を尊重する。職員は、会話だけでなく、握手、身振り、じゃんけんなど多様な方法でコミュニケーションをとり、楽しそう、この話をする時は嬉しそうといった気持ちをくみ取りながらの対応を心掛けている。

・ **地域の関係機関と連携し、地域の福祉ニーズに貢献している**

事業所内の交流スペースを解放し、地域の人との集まりに利用してもらっている。近年では、大学で開催される講座、自治会主催の体操教室の利用があった。北部圏域の支援者会議に場所を提供することもあり、地域包括支援センターと協力して地域の福祉ニーズに貢献している。また、さいたま市と連携し、地域の福祉避難所として協定を結んでおり、災害時には地域住民の受入れを可能としている。さらに、法人全体としては、ひなの杜が、公益事業として、利用料の助成事業をしており、生活支援ショートステイを実施して、措置入所も受け入れている。

◇特にコメントを要する点

・ **現在の研修制度を活用した、職員一人ひとりの育成する仕組みの更なる充実**

年間を通しての研修計画があり、サービス向上のための研修を行っている。個人の目標管理については、年一回の面談を通し、今年度より、聞き取りシートを導入して、目標管理を行っている。新入職員は、習得すべきことを明確にし、日報で習得状況を把握している。現在の研修制度や面談での目標管理を活用し、職員一人ひとりの、経験年数や職責に応じた継続的に、研修受講や技術習得の機会を把握し、育成していく仕組みの充実が期待される。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

昨年と比較して改善できているところや、もっと改善が必要な点がわかりました。
このように第三者評価をしていただき、外部の方の評価を知ることができたことは、今後の施設運営の参考となりました。
この結果をもとに、更に地域に貢献すべく努力してまいりたいと存じます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり